

# 防府の企業、県外3拠点で在宅 「生産性向上」



県外の拠点を閉じて在宅勤務に移行したYKプランニングの岡本辰徳社長＝防府市佐波

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、県内でも在宅勤務といったテレワークの導入が進む。防府市佐波に本社を置く会計ソフト開発会社のYKプランニングは、東京など県外にあった3拠点を閉じ、在宅勤務に切り替えた。

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、東京と福岡、名古屋の県外3拠点で3月2日から在宅勤務を始めた。特措法に基づく緊急事態宣言を受け、4月8日から本格的な在宅勤務体制に移行

し、3拠点を閉鎖した。在宅勤務に必要な机やイス、通信環境の整備を会社の負担で進め、在宅勤務手当の支給も始めた。

防府市内の本社は出勤する社員を減らし、ローテーションで在宅勤務を行った。緊急事態宣言の解除後は社内で座席の配置を換え、社員同士の距離を取って出勤を始めた。「不満は一切出ていない。時間が有効に使える、生産性が高くなっている」と岡本辰徳社長(44)。在宅勤務の環境を整

えるためにかかった費用は約500万円で、それを上回る効果があったという。以前からペーパーレス化やウェブ上でのデータ管理を進め、顧客に対するフォローアップや新規の営業活動も数年前からウェブ上で行っている。これまでの取り組みを基盤に、新型コロナウイルスで一気に働き方改革が加速した形だ。岡本社長は「新しい働き方としてテレワークを実践し、提案していきたい」と話す。

山口新聞 2020年7月5日付  
朝刊